

ともに

Dear our friends.

Dear our partners.

【校訓】
やさしく
かしこく
すこやかに

平成27年11月24日
第28号

天草市立久玉小学校
学校通信
編集代表
校長 本田勝則

修学旅行に学ぶ

①自分のことが きちんとできる

②みんなの仕事 を進んでできる

子どもたちは、旅館での過ごし方もきちんとできました。
「部屋をきれいに使う」
「自分の荷物を散らさな



「食事の配膳でみんなのご飯をついたり、お茶や味噌汁を用意できる」
「部屋掃除が自分の布団を片付けて終わりにやなく、ほうきを持って来て掃くことができる」
「係の仕事や家の手伝いをきちんとできていればこんな時に活躍できます」



③相手の立場 になって話を聴 くことができる

だれの言葉でしょう？

率直に言う。
もし、緊急事態に
難民に
優しい顔を
見せたことについて
私たちが
謝罪を
始めなければ
ならないとしたら、
そんな国は
私の国ではない。

(答えはこの通信の左下です)

6年生は修学旅行で「平和」について学んできました。私たち大人に、今、世界が直面する悲劇を少しでもなくする方法はないのでしょうか？
親の後ろ姿で教えたい、そう思います。私たちにできることは何か、を考えるところから始める心づもりをしていきましょう。

ホームページならカラーで見ることができます！
URLは、<http://es.higo.ed.jp/kutamaes/>

④心を穏やかにして過ごす

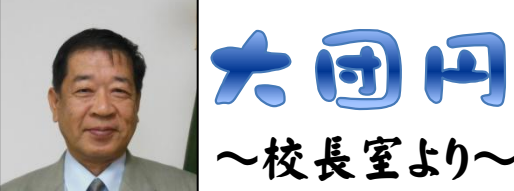
心を穏やかにして過ごす、トラブルも発生しにくく、プログラムもスムーズに進行します。すべてに何もかもスムーズがいいということではありません。トラブルも成長には必要です。ですが、回避できるトラブルは回避できた方がいいということです。

修学旅行はタイムスケジュールどおりに、進行了しました。これも、6年生の確かな「学びと育ち」の姿のあらわれ、だといえます。



久玉から、平和を祈る

ともに認め合い、助け合って 伸びる「久玉っ子」の育成



「二十一世紀は人権の世紀」と言われます。人権とは、人間誰もが持っているさまざまな権利のことであり、一九四八年に採択された世界人権宣言では、すべての人が人間として尊重され、自由であり、平等であり、差別されてはならないとされています。

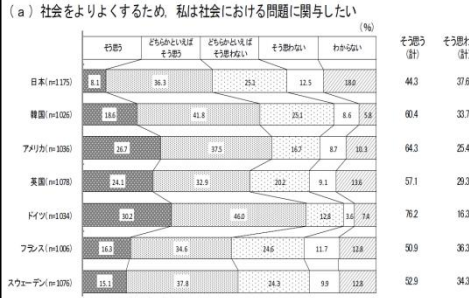
子ども、意見をはっきり表明できる子・できない子等、様々な個性・特性を有する子どもが集団をつくって生活しています。だからこそ、お互いの個性や特性を尊重し、それぞれの持ち味や能力の違いを認め合い、助け合って生活や学習に取り組んでいくことが大切です。しかし、集団生活の中では、個性がぶつかり合ったり、能力の違いを認めることができなくて、「心ない言葉」を発してトラブルになることがあります。このような場合、相手に対して「やめて！」などと自分の意思をはっきり伝えることや相手が嫌がることを会をとりえて考えさせるようにし

ています。計画的な学習や実際のトラブル事例による学習を通じて、自分も他人も嫌な思いをしない言動を常に心がけることのできる「久玉っ子」に育ってほしいと願って指導しています。教師であり、保護者であれ、私たち大人が子どものモデルにならなければなりません。我が子を中心に据えつつ、我が子もよき子も学校、家庭・地域ぐるみで温かく見守り、育てていきましょう。

お互いの「よさ」を認め合い、助け合って、ともに伸びる久玉っ子121が目標です。

今日は本田校長先生が教員になって13385日目
そして、平成28年3月31日は13513日目

なるほど・ザ・家庭教育



「社会をよりよくするため、私は社会における問題に関与したい」と答える割合が、日本の若者には非常に低いのです。悲しいですね。

6年生が体験した長崎の平和学習、そして世界で起こっている悲しい出来事、それを憂う人になってほしいと思います。

平成の坂本龍馬よ、いでよ、久玉から！

(平成25年度我が国と諸外国の若者の意識に関する調査/平成26年6月・内閣府)